

## 春日山原始林保全計画（案）に基づく保全事業の実施に向けて

## 1. 保全計画（案）に基づく保全事業の実施

奈良県は、春日山原始林を保全するため、その指針となる保全計画（案）の検討を進めるとともに、ナラ枯れ対策など、緊急的な対策を要する課題に対して保全事業を実施してきた。

特に、保全計画（案）の検討に当たっては、保全の目標に基づき、以下に示す9つの保全方策を設定し、短期・中期・長期とスケジュール感を持ちながら保全方策を実施できるよう各期の目標（案）を検討しているとともに、実証実験に着手し、保全方策の具体的な内容の検証も併せて行っている。

保全計画（案）の検討結果を踏まえ、保全計画の中核を担う実証実験の内容や箇所等の再確認の上、奈良県が管理者として、平成27年度（2015）8月以降、今後実施を予定している保全事業等のうち、早急に実施すべきと考える保全事業は下表のとおりである。

## 春日山原始林の保全の目標

古都奈良の貴重な財産である春日山原始林の持続的な森林更新を促し、人やシカとも共生できる森林を保全することを目標とする。

春日山原始林の9つの保全方策		保全方策から想定される保全事業等	
区分	保全方策	着手済みの保全事業等	今後実施を予定している保全事業等
照葉樹林の多様性の保全	(1) 後継樹の更新を誘導する保全方策を実施する	<ul style="list-style-type: none"> <li>大径木及びギャップ調査</li> <li>植生保護柵による後継樹の生育環境の保全（実証実験）</li> <li>モニタリング調査（実証実験）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>植生保護柵による後継樹の生育環境の保全（実証実験）（継続）</li> <li>モニタリング調査（実証実験）（継続）</li> <li>●植生保護柵による保全面積の拡大</li> <li>●後継樹種子確保、育苗方法の検討※</li> </ul>
	(2) 下層植生の多様性を維持する保全方策を実施する	<ul style="list-style-type: none"> <li>原始林における下層植生調査（冬季）</li> <li>植生保護柵による多様な下層植生の保全（実証実験）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>植生保護柵による多様な下層植生の保全（実証実験）（継続）</li> <li>原始林における下層植生調査（継続）</li> <li>●植生保護柵による保全面積の拡大</li> </ul>
喫緊の課題への対策	(3) ナンキンハゼの侵入を抑制する保全方策を実施する	<ul style="list-style-type: none"> <li>ナンキンハゼの駆除方法の検証（実証実験）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ナンキンハゼの駆除方法の検証（実証実験）（継続）</li> <li>●ナギの侵入状況調査（ギャップ調査）</li> <li>●ナンキンハゼの本格的な駆除※</li> </ul>
	(4) ナギの拡大を抑制する保全方策を実施する	<ul style="list-style-type: none"> <li>ナギの数量調整方法の検証（実証実験）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ナギの数量調整方法の検証（実証実験）（継続）</li> <li>●ナギの拡大状況把握調査</li> <li>●ナギの本格的な数量調整方法の検討※</li> </ul>
	(5) ナラ枯れの拡大を抑制する保全方策を実施する	<ul style="list-style-type: none"> <li>ナラ枯れ被害調査</li> <li>ナラ枯れ被害対策</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ナラ枯れ被害調査（継続）</li> <li>ナラ枯れ被害対策（継続）</li> </ul>
人工林の利活用	(6) 花山・芳山地区人工林の保全・利活用を実施する	<ul style="list-style-type: none"> <li>檜皮採取実験</li> <li>花山・芳山地区人工林の保全・利活用方法の検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>檜皮採取実験（継続）</li> <li>花山・芳山地区人工林の保全・利活用方法の検討（継続）</li> </ul>
運営及び体制の構築	(7) 保全事業の執行体制を確立する	<ul style="list-style-type: none"> <li>関係部局との連携</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>関係部局との連携</li> </ul>
	(8) 多様な主体の参画を図る	<ul style="list-style-type: none"> <li>奈良公園観光地域活性化基金への事業登録</li> <li>春日山原始林を未来へつなぐ会の支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>奈良公園観光地域活性化基金の運用</li> <li>春日山原始林を未来へつなぐ会の支援</li> <li>●研究機関との連携※</li> </ul>
	(9) 春日山原始林に関する基礎情報のマネジメントを図る	<ul style="list-style-type: none"> <li>基礎情報の蓄積</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●航空レーザー測量※</li> <li>●データベースの作成、運用</li> </ul>

※平成27年度8月以降、今後実施を予定している保全事業等のうち、奈良県が早急に実施すべきと考える保全事業に下線

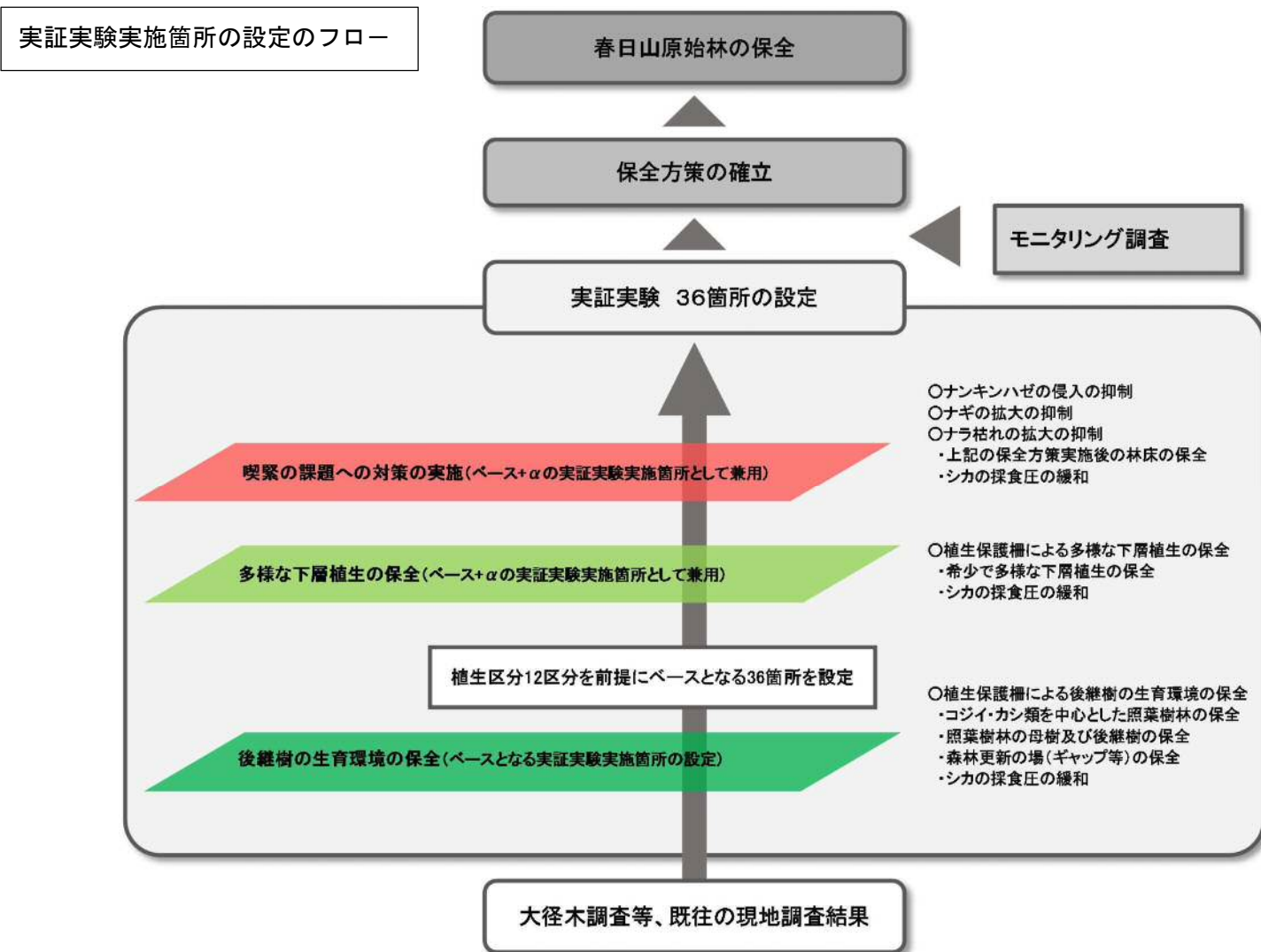
## 2. 実証実験実施箇所の再確認

### (1) 実証実験の目的

- ・ 持続的な森林更新の可能性（母樹の存在、ギャップの形成、後継樹の生育、下層植生を含む多様な植生の生育等）を有する場に、植生保護柵を設置し、原生的な照葉樹林を保全する箇所を着実に広げていくこと。
- ・ ナンキンハゼの駆除、ナギの数量調整、ナラ枯れ対策の喫緊の課題に対する方策の検証を行うこと。
- ・ 植生の回復状況を経年評価（モニタリング）し、より効果的な保全方策を確立すること。

### (2) 実証実験実施箇所の設定の考え方

- ・ 原生的な照葉樹林を構成する植生区分 12 区分を前提に、その植生区分毎に後継樹の生育環境を保全することを第一に、実証実験の実施箇所のベースとなる箇所を抽出した。
- ・ ベースとなる箇所の抽出にあたっては、春日山原始林の多様な植生の一つである、下層植生の保全に資する箇所も含むこととした。
- ・ 春日山原始林の保全を実施する上で、立地的な分布やバランス、内容、優先順位等から必要十分なものとなるよう、別途検討した保全の目標値との関係を踏まえ、実証実験の実施箇所 36 箇所を設定した。

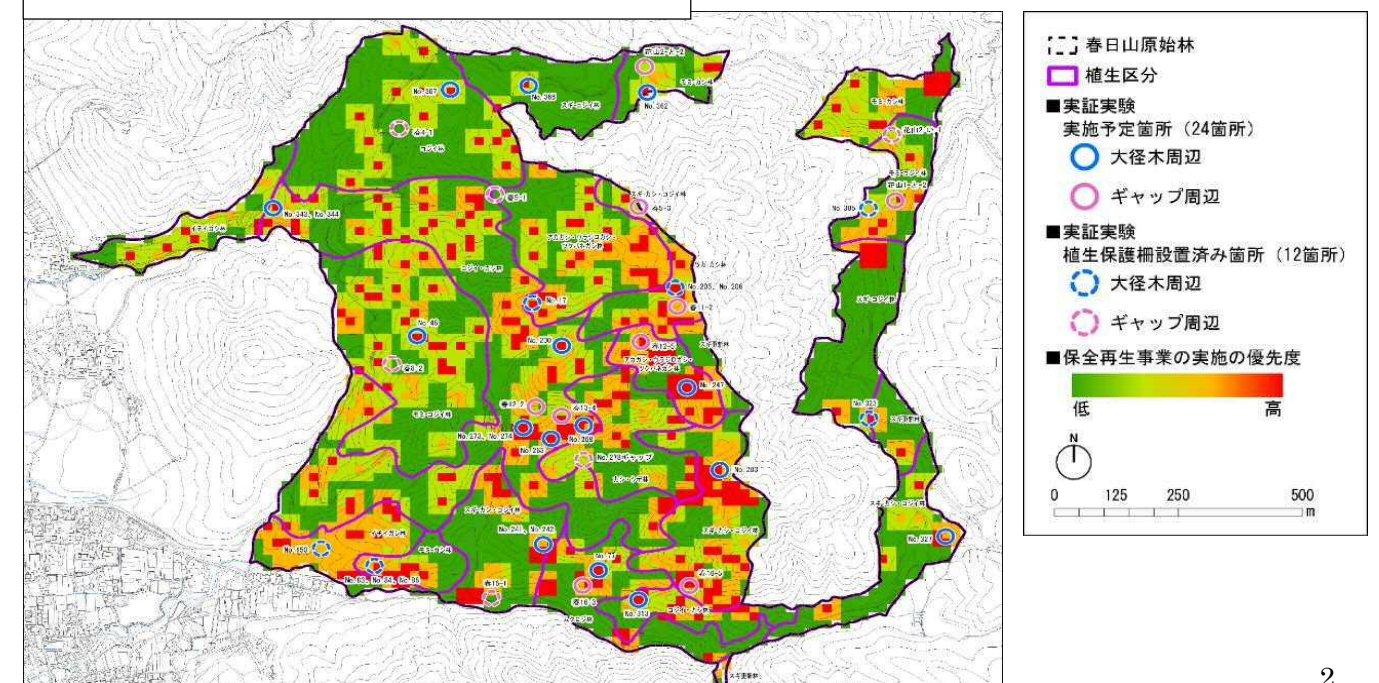


植生区分と実証実験実施箇所の関係

植生区分		実証実験実施箇所	
		大径木周辺	ギャップ周辺
1	アカガシ・ウラジロガシ・ツクバネガシ林 (カシ①)	2	2
2	イチイガシ林 (カシ②)	1	
3	ツガ-カシ林 (カシ③)	1	1
4	カシ-シデ林 (カシ④)		1
5	モミ-カシ林 (カシ⑤)	2	1
6	コジイ林 (コジイ①)	1	1
7	コジイ-カシ林 (コジイ①)	6	2
8	モミ-コジイ林 (コジイ①)	2	3
9	ムクロジ林 (ムクロジ)	1	1
10	スギー-コジイ林 (スギ①)	2	
11	スギー-カシ-コジイ林 (カシ②)	3	3
12	スギ更新林※		
小計		21	15
合計		36	

※スギ更新林は、原始林として保全する必要性が低いいため実施箇所の設置を見送る

実証実験実施箇所と保全の目標値との立地関係



平成 27 年度 (2015) 7 月現在、36 箇所中、12 箇所で植生保護柵の設置を完了

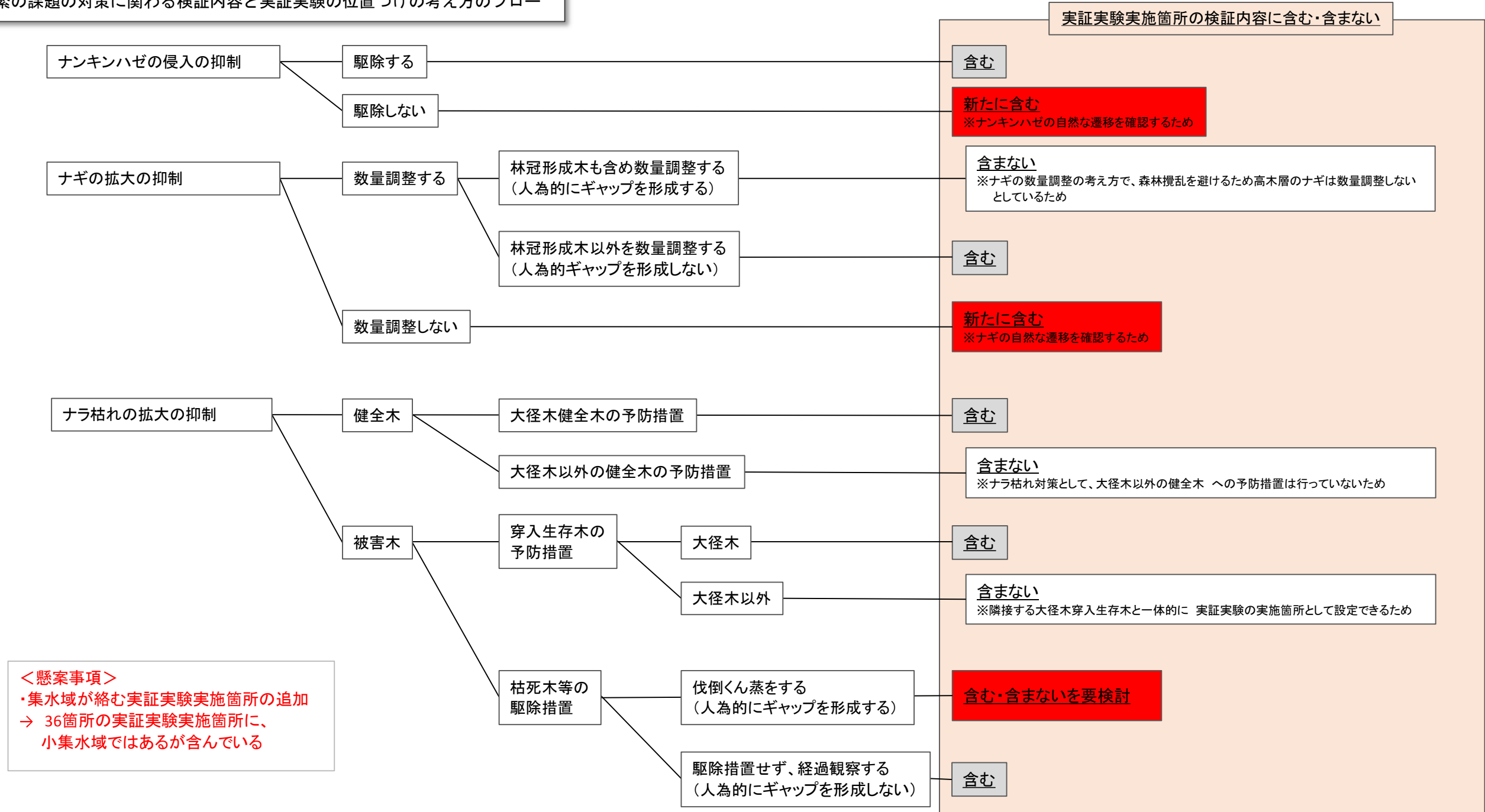
	面積	構成比
春日山原始林全域	298.0ha	100.0%
実証実験実施箇所総面積 (36 箇所)	2.7ha	0.9%
植生保護柵設置済み箇所 (12 箇所)	1.0ha	0.3%

※春日山原始林全域に対する構成比

(3) 喫緊の課題の対策に関わる実証実験実施箇所の考え方

- ・ベースとして設定した実証実験 36 箇所のうち下表に示す6箇所については、ナンキンハゼの駆除、ナギの数量調整、ナラ枯れ対策の喫緊の課題を解決するために必要な具体的な方策を検証するための実証実験を兼ねる場実施する箇所とした。
- ・喫緊の課題の対策に関わる検証内容については、下図のフローに示す考え方に基づき設定したが、春日山原始林検討委員会での指摘事項を踏まえ、赤枠で示す検証内容について、新たに実証実験の追加を検討する。

喫緊の課題の対策に関わる検証内容と実証実験の位置づけの考え方のフロー



<懸案事項>  
 ・集水域が絡む実証実験実施箇所の追加  
 → 36箇所の実証実験実施箇所に、小集水域ではあるが含んでいる

実証実験実施箇所で植生保護柵設置済み箇所 (12 箇所) のうち、喫緊の課題の対策に関わる検証内容を含んでいる箇所の内訳

	植生保護柵設置済み箇所 (12箇所)											
	No.305	春4-1	春5-1	春16-1	花2い-1	No.17	No.150	No.205, 206	No.278 ギャップ	No.83, 84,86	No.323	春8-2
ナンキンハゼの侵入の駆除		●										●
ナギの拡大の抑制		●					●			●		●
ナラ枯れの拡大の抑制	●			●						●		